

事業名 機能性野菜「リッチリーフ(R)」栽培用光源の開発と  
リッチリーフ(R)の商品化

連携体  
 中小企業者：(株)ホト・アグリ(農業用機械製造業)  
 農林漁業者：京丸園(株)(野菜作農業)  
 連携参加者：(有)ハーベスト浜松(野菜卸売業)、(株)増田採種場(その他の耕種農業)

サポート機関等 はままつ産業創造センター、(株)静岡銀行、静岡県商工会連合会、  
光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス(株)、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(株)ホト・アグリは、植物の機能性成分をLEDなどの補光により高める研究を行うなかで、機能性野菜リッチリーフの開発に成功、農家向けのLEDの光源の開発を進めると共にリッチリーフの量産化に乗り出した。

量産化のノウハウを求めるなかで、従来より技術供与を受けていた京丸園(株)と当事業について協力、連携を開始することとなった。

リッチリーフ



ビタミンに特化したリーフ

ポリフェノールに特化したリーフ

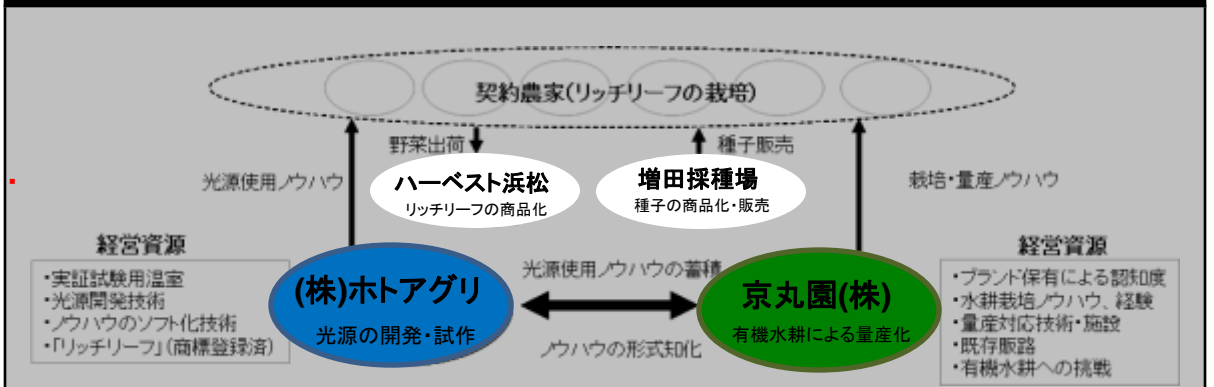
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

作物栽培中の光制御によって、野菜に含まれるポリフェノール、ビタミンなどの機能性成分を強化した機能性野菜「リッチリーフ」を量産化し、栽培ノウハウを含めた栽培用光源システムを販売する。

栽培用光源を農家に販売する一方で、「リッチリーフ」を首都圏の高級スーパー、百貨店、ホテルに販売し、市場開拓を行っていく。



連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆新たな農業ビジネスモデルの開拓
- ◆新商品の売上高3,000万円
- ◆有機水耕栽培方法の確立
- ◆野菜の機能性成分を向上させた補光栽培技術の確立

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地)株式会社ホト・アグリ  
(静岡県浜松市西区呉松町1955-1,光産業創成大学院大学内)
- ◆電話・FAX番号:053-484-2581
- ◆E-mail:richleaf@photo-agri.com
- ◆ホームページ:http://www.photo-agri.com/

地域 静岡県 浜松市 認定日 平成20年9月19日 通巻番号 3 - 20 - 014

事業名 省エネルギー技術による環境制御技術を活用した1年中イチゴ狩りができる観光農園と浜名湖という特色を活かした周辺農産物を取りそろえた直売所の経営

連携体  
 中小企業者：(株)GFD(アグリコンサルタント業、青果物卸業)  
 農林漁業者：鈴木偉也(野菜作農業)  
 連携参加者：ニチモウ(株)、大和リゾート(株)、遠鉄観光開発(株)、(有)浜名湖フィッシングリゾート

サポート機関等 静岡県商工会連合会、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

大手農業関連企業から独立し(株)GFDを設立。地産地消をコンセプトとした特色ある直売所と1年中イチゴ狩りが出来る観光農園の経営に向け鈴木氏との協力・連携を開始。また、浜名湖地区での観光ゾーン形成への協力として遠鉄観光開発(株)、大和リゾート(株)、(有)浜名湖フィッシングリゾートが参加。さらに、ニチモウ(株)が直売所経営及び農業支援で参加をしている。



観光農園(エコベリーファーム)

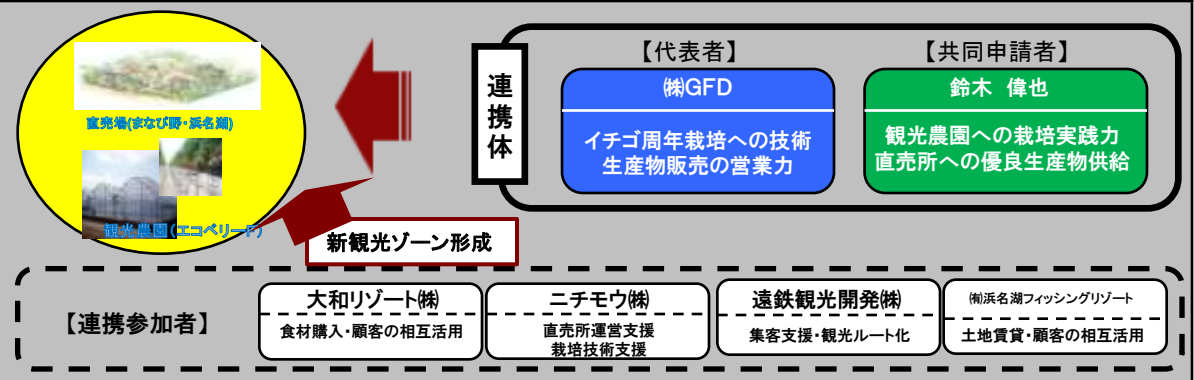
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

浜松は農業生産高全国第4位とものづくりの街である一方、作物の大半は首都圏に供給されるなど、地元の消費に直結していない。また、イチゴ狩り等観光農園も需要に対して供給が間に合わない現状となっている。そこで、最新の「クラウド制御」栽培技術と、外気に影響されにくい温室構造をベースとする省エネルギー技術による栽培環境制御システムを活用した1年中イチゴ狩りが出来る観光農園を建設、また地産地消をコンセプトに浜松の農産物を取りそろえた直売所をガーデニングの世界チャンピオンの設計プロデュースによる施設により運営する。



直売場(まなび野・浜名湖)

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆地産地消推進型ビジネスモデルによる地域自給率の向上
- ◆食と農業をテーマとする新観光ゾーンの形成(年間50万人集客)
- ◆新しい農業ビジネスモデルの開拓
- ◆売上高4億円(平成22年度・連携全体)

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):(株)GFD (静岡県浜松市中区中央2-15-6)
- ◆電話番号:053-489-6751
- ◆FAX番号:053-489-6752
- ◆E-mail:info@gfd.co.jp
- ◆ホームページ:http://gfd.co.jp

事業名 宮古島モズクを用いた半生タイプの商品開発と販売

連携体  
 中小企業者：西光エンジニアリング(株)(食品機械・同装置製造業)  
 農林漁業者：宮古島漁業協同組合  
 連携参加者：

サポート機関等 静岡県商工会連合会、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

宮古島モズクの養殖地域



◆連携の経緯

西光エンジニアリング(株)は、かねてより宮古島のモズク加工・販売等で宮古島漁協と深いつながりがあり、自信を持つ販路と販売ノウハウ及び海草類の洗浄・選別・乾燥技術を有する。宮古島漁協は、モズクの養殖と選別ノウハウを有する。本事業では、両者の経営資源を活用し、協力・連携を開始することになった。



モズクの天ぷら

◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

塩蔵しない生の宮古島モズクを使った新商品として「グリーンモズク」と「半生モズク」を開発した。「グリーンモズク」はサラダ感覚で食べる食材、「半生モズク」は天ぷらにして食べるとおいしい食材である。

味が付いていないモズクを望んでいる食事制限中の消費者や、健康に留意する購買層をターゲットに、食材として宮古島モズクの市場開拓を行う。



グリーンモズクのサラダ

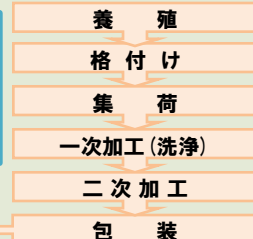
連携体の構成と活用する経営資源

【代表者】 西光エンジニアリング  
(中小企業者)

- 海草類の乾燥技術
- 半生モズク、グリーンモズクの製造技術
- 販路と販売ノウハウ
- 商品の量産化技能

【共同申請者】 宮古島漁業協同組合  
(農林漁業者)

- モズクの養殖技術
- モズクの格付けに関するノウハウ



販売

仕入

出荷

期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高 7.5億円(平成24年度)
- ◆本連携に伴う新規雇用創出者数 10名  
(平成24年度・連携体全体)
- ◆地域ブランド「宮古島モズク」の確立  
「グリーンもずくん」・「半生モズク」

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):西光エンジニアリング株式会社  
(静岡県藤枝市高柳3-30-23)
- ◆電話番号:054-636-0311
- ◆FAX番号:054-635-5005
- ◆E-mail: seiko-eng@kcf.biglobe.ne.jp
- ◆ホームページ: <http://www.seikoeng.jp>